



FRANKLIN  
TEMPLETON

# フランクリン・テンプレトン・ ブラジル国債ファンド (年2回決算型)

## 運用報告書（全体版）

第31期 決算日 2024年3月13日

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2008年10月31日設定）	
運用方針	当ファンドは、主に「フランクリン・テンプレトン・ブラジル国債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジル・リアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指します。	
主要運用対象	当ファンド	「フランクリン・テンプレトン・ブラジル国債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	フランクリン・テンプレトン・ブラジル国債マザーファンド	ブラジル・リアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	年2回の決算日（原則として毎年3月13日及び9月13日。休業日の場合は翌営業日）に、収益分配方針に基づいて分配を行います。	

当報告書に関するお問い合わせ先：  
フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社

お問い合わせ窓口

電話番号：03-5219-5947

### － 受益者のみなさまへ －

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、「フランクリン・テンプレトン・ブラジル国債ファンド（年2回決算型）」は、2024年3月13日に第31期の決算を行いましたので、期中の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。  
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

## フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社

〒100-6536 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社（金融商品取引業者  
関東財務局長（金商）第417号）はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。

<https://www.franklintempleton.co.jp>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分 配 金	騰 落 率			
	円	円	%	%	%	百万円
27期(2022年3月14日)	12,583	0	11.8	98.7	—	4,615
28期(2022年9月13日)	15,990	0	27.1	98.6	—	3,700
29期(2023年3月13日)	15,533	0	△ 2.9	99.7	—	3,127
30期(2023年9月13日)	18,983	0	22.2	99.8	—	3,160
31期(2024年3月13日)	19,858	0	4.6	99.0	—	2,867

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準	価額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
		騰 落 率	騰 落 率			
(期首) 2023年9月13日	円	円	%	%	%	%
	18,983	—	—	99.8	—	—
9月末	18,971	△0.1	—	98.9	—	—
10月末	19,002	0.1	—	98.7	—	—
11月末	19,524	2.8	—	99.3	—	—
12月末	19,244	1.4	—	98.7	—	—
2024年1月末	19,760	4.1	—	99.7	—	—
2月末	20,191	6.4	—	100.1	—	—
(期末) 2024年3月13日	円	円	%	%	%	%
	19,858	4.6	—	99.0	—	—

(注) 騰落率は期首比です。

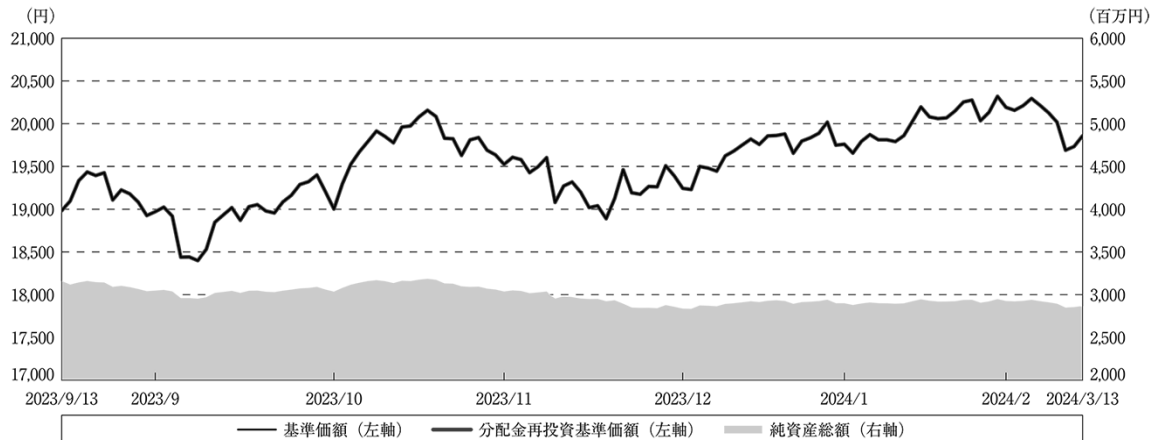
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

### 期中の基準価額等の推移

(2023年9月14日～2024年3月13日)



期 首：18,983円

期 末：19,858円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 4.6% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2023年9月13日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス(騰落率)はプラスとなりました。

ブラジルの金利水準が相対的に高いことから、公社債利金を手堅く確保したとともに、債券利回りが低下(価格は上昇)する中、公社債損益もプラスとなりました。一方、ブラジルリアル安・円高を反映して、為替損益がマイナスとなりました。

当期のブラジル債券市場では、利回りが低下しました。

期の前半は、ブラジル中央銀行 (BCB) が利下げを実施したものの、後日公表された金融政策決定会合の議事要旨では、想定以上に景気が底堅く、サービス価格が高止まりを続けるリスクに警戒が示されたため、BCBの利下げペースの加速期待が後退し、利回りは上昇（価格は下落）しました。また、原油価格が上昇したことも、利回りの上昇要因となりました。

期の半ばは、米インフレ指標の鈍化などを背景に、米連邦準備制度理事会 (FRB) の金融引き締め長期化観測が後退したことから米回国債利回りが低下したため、ブラジル債券利回りも低下しました。また、格付け会社S&Pグローバル・レーティングがブラジルの格付けを引き上げたことも、利回りの低下要因となりました。

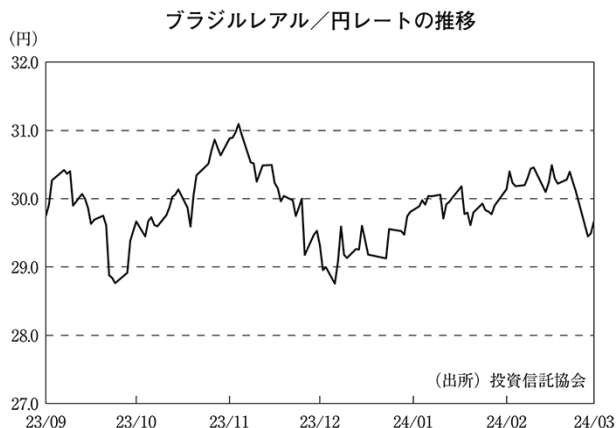
期の後半は、財務相が2024年の基礎的財政収支を均衡させる目標の達成に自信を示したことから、財政悪化懸念が和らいだため、利回りは低下しました。しかし、その後は複数のFRB関係者が利下げを巡る慎重な姿勢を示したことから米回国債利回りが上昇し、ブラジルの債券利回りも上昇しました。

当期のブラジルリアル・円相場は、リアル安・円高となりました。

期の前半は、BCB金融政策決定会合議事要旨を受けて利下げペースの加速期待が後退しましたが、BCBが利下げを継続するとの見方が根強いことなどから、リアル売り・円買いが優勢となりました。しかし、その後はブラジルの財政健全化に対する期待を背景に、リアルは対円で上昇に転じました。

期の半ばは、植田日銀総裁などの発言を受け、日銀の金融政策が修正されるとの見方が強まったことや、BCBの利下げを背景に、リアル安・円高が進みました。しかし、その後は日銀が金融政策決定会合で政策の据え置きを決定し、フォワード・ガイダンスなどの見直しも行わなかったことから、リアルは対円で上昇に転じました。

期の後半は、ブラジルの経済指標が底堅かったことなどが、リアル高・円安の要因となりました。しかし、その後はブラジルのインフレ指標が市場予想を下回ったことや、日銀の超緩和的な金融政策の解除期待などを背景に、リアル安・円高に転じました。



当ファンドは、主に「フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。また、外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。当期においては、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築しました。

## 分配金

(2023年9月14日～2024年3月13日)

分配金につきましては、基準価額動向や保有債券の利子収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

### ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第31期
	2023年9月14日～ 2024年3月13日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	17,276

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

### ○今後の運用方針

主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行い、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築してまいります。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年9月14日～2024年3月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 165	% 0.848	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 80 )	( 0.410 )	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	( 80 )	( 0.410 )	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 5 )	( 0.027 )	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	21	0.108	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 18 )	( 0.091 )	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 1 )	( 0.004 )	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 等 費 用 ）	( 3 )	( 0.013 )	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0 )	( 0.000 )	金銭信託預入に係る手数料等
合 計	186	0.956	
期中の平均基準価額は、19,448円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

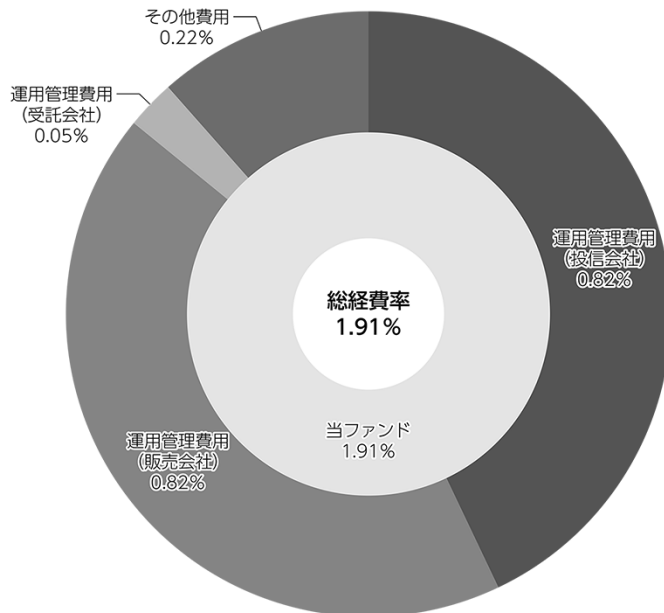
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.91%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2023年9月14日～2024年3月13日)

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド	千口 31,842	千円 81,368	千口 211,209	千円 535,470

(注) 単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2023年9月14日～2024年3月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2023年9月14日～2024年3月13日)

該当事項はございません。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2023年9月14日～2024年3月13日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2024年3月13日現在)

### 親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド	千口 1,285,080	千口 1,105,713	千円 2,893,651

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。



## ○投資信託財産の構成

(2024年3月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド	千円 2,893,651	% 99.8
コール・ローン等、その他	5,401	0.2
投資信託財産総額	2,899,052	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（25,302,034千円）の投資信託財産総額（25,708,118千円）に対する比率は98.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、3月13日における邦貨換算レートは1米ドル=147.53円、1ブラジルレアル=29.6595円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年3月13日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	2,899,052,563	
フランクリン・テンブルトン・ブラジル国債マザーファンド(評価額)	2,893,651,156	
未収入金	5,401,407	
(B) 負債	31,258,585	
未払解約金	5,401,407	
未払信託報酬	25,332,039	
その他未払費用	525,139	
(C) 純資産総額(A－B)	2,867,793,978	
元本	1,444,169,888	
次期繰越損益金	1,423,624,090	
(D) 受益権総口数	1,444,169,888口	
1万口当たり基準価額(C/D)	19,858円	

<注記事項>

元本の状況

期首元本額

1,664,694,584円

期中追加設定元本額

41,802,029円

期中一部解約元本額

262,326,725円

○損益の状況 (2023年9月14日～2024年3月13日)

項 目	当 期	円
(A) 有価証券売買損益	150,271,451	
売買益	162,109,840	
売買損	△ 11,838,389	
(B) 信託報酬等	△ 25,857,178	
(C) 当期損益金(A+B)	124,414,273	
(D) 前期繰越損益金	714,146,808	
(E) 追加信託差損益金	585,063,009	
(配当等相当額)	( 1,653,682,278)	
(売買損益相当額)	(△1,068,619,269)	
(F) 計(C+D+E)	1,423,624,090	
(G) 収益分配金	0	
次期繰越損益金(F+G)	1,423,624,090	
追加信託差損益金	585,063,009	
(配当等相当額)	( 1,654,061,231)	
(売買損益相当額)	(△1,068,998,222)	
分配準備積立金	840,973,460	
繰越損益金	△ 2,412,379	

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するため要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の96相当額を支払っております。

<分配金の計算過程>

決 算 期	当 期	円
(A) 配 当 等 収 益(費用控除後)	126,826,652円	
(B) 有 価 証 券 売 買 等 損 益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0	
(C) 収 益 調 整 金	1,654,061,231	
(D) 分 配 準 備 積 立 金	714,146,808	
分 配 対 象 収 益 額(A+B+C+D)	2,495,034,691	
(1 万 口 当 たり 収 益 分 配 対 象 額)	( 17,276)	
収 益 分 配 金	0	
(1 万 口 当 たり 収 益 分 配 金)	( 0)	

<お知らせ>

<主な約款変更に関するお知らせ>

デリバティブ取引の利用目的を明確化し、価格変動などのリスクを回避するため並びに投資対象資産を保有した場合と同様の損益を実現するための利用に限定する変更を行いました。

(変更日：2023年12月14日)

# フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド

## 運用状況のご報告

第16期 決算日 2024年3月13日

(計算期間：2023年3月14日～2024年3月13日)

### － 受益者のみなさまへ －

法令・諸規則に基づき、「フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド」の第16期の運用状況をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限（2008年10月31日設定）
運 用 方 針	1. 主としてブラジル・リアル建てのブラジル国債を中心に投資を行います。 2. 原則として外貨建資産の為替ヘッジを行いません。 3. 債券の流動性や残存年数に配慮しながらポートフォリオを構築します。
主 要 運 用 対 象	ブラジル・リアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
組 入 制 限	外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債券率	債先物比率	純資産額
	円	騰落率				
12期(2020年3月13日)	14,082	△19.2	97.3	—	—	百万円 46,112
13期(2021年3月15日)	13,415	△4.7	97.7	—	—	32,984
14期(2022年3月14日)	16,047	19.6	97.9	—	—	28,484
15期(2023年3月13日)	20,137	25.5	98.8	—	—	24,983
16期(2024年3月13日)	26,170	30.0	98.1	—	—	25,682

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債組入比率	債券率	債先物比率	債券率
	円	騰落率				
(期首) 2023年3月13日	20,137	—	98.8	—	—	—
3月末	20,607	2.3	99.2	—	—	—
4月末	21,310	5.8	98.7	—	—	—
5月末	22,262	10.6	98.8	—	—	—
6月末	24,252	20.4	98.5	—	—	—
7月末	24,480	21.6	99.4	—	—	—
8月末	24,819	23.3	98.9	—	—	—
9月末	24,810	23.2	98.8	—	—	—
10月末	24,888	23.6	98.5	—	—	—
11月末	25,607	27.2	98.9	—	—	—
12月末	25,276	25.5	98.2	—	—	—
2024年1月末	25,990	29.1	99.0	—	—	—
2月末	26,589	32.0	99.3	—	—	—
(期末) 2024年3月13日	26,170	30.0	98.1	—	—	—

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

### 期中の基準価額等の推移

(2023年3月14日～2024年3月13日)



### ○基準価額の変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラスとなりました。ブラジルの金利水準が相対的に高いことから、公社債利金を手堅く確保し、債券利回りが低下（価格は上昇）する中、公社債損益もプラスとなりました。ブラジルリアル高・円安を反映して為替損益もプラスとなりました。

当期のブラジル債券市場では、利回りが低下しました。

期の前半は、政府が発表した新たな財政枠組み案が好感され、利回りは低下しました。その後、市場では2023年8月にもブラジル中央銀行 (BCB) の利下げが開始されるとの期待が高まったことから、利回りは一段と低下しました。

期の半ばは、格付け会社フィッチ・レーティングスが新たな財政枠組みの導入と更なる改革への期待を背景に、ブラジルの格付けをBB- (マイナス) からBBに引き上げたことから、利回りは低下しました。また、BCBはインフレ懸念の後退等を背景に利下げを開始しました。しかし、その後は原油先物価格が上昇したことから、利回りも上昇 (価格は下落) に転じました。

期の後半は、格付け会社S & Pグローバル・レーティングがブラジルの格付けを引き上げたことから、利回りは低下しました。しかし、その後は複数の米連邦準備制度理事会 (FRB) 関係者が利下げを巡る慎重な姿勢を示したことから米国債券利回りが上昇し、ブラジルの債券利回りも上昇しました。

当期のブラジルリアル・円相場は、リアル高・円安となりました。

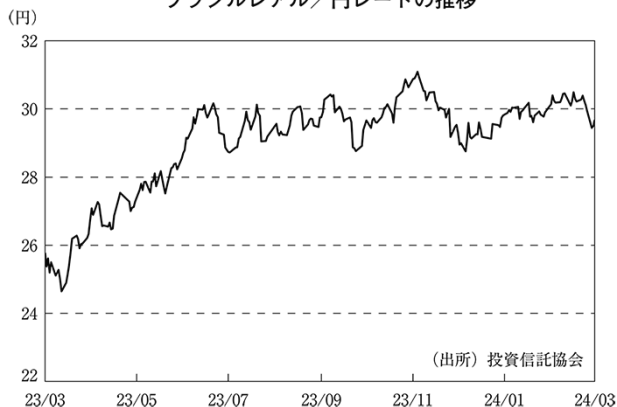
期の前半は、欧米当局による金融システム不安に対する積極的な対応により、投資家のリスク回避姿勢が薄れたことがリアル高・円安要因となりました。また、ブラジルの税制改革の進展により、格付け会社S & Pグローバル・レーティングがブラジルの格付け見通しをポジティブに変更したことなどから、リアル高・円安が一段と進行しました。

期の半ばは、格付け会社フィッチ・レーティングスによるブラジルの格上げなどを背景に、リアルは上昇基調となりました。しかし、その後はBCBが利下げを継続するとの見方が根強いことなどから、リアルは対円で上値の重い展開が続

ブラジル国債 (2年物) 利回りの推移



ブラジルリアル/円レートの推移



きました。

期の後半は、植田日銀総裁などの発言を受け、日銀の金融政策が修正されるとの見方が強まったことや、BCBの利下げを背景に、リアル安・円高が進みました。しかし、その後は日銀が金融政策決定会合で政策の据え置きを決定し、フォワード・ガイダンスなどの見直しも行わなかったことから、リアルは対円で上昇に転じました。

## 当ファンドのポートフォリオ

---

当ファンドは、主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。当期においては、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築しました。

## ○今後の運用方針

---

主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行い、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築してまいります。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年3月14日～2024年3月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 42	% 0.174	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(42)	(0.174)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	( 0 )	(0.000)	金銭信託預入に係る手数料等
合 計	42	0.174	
期中の平均基準価額は、24,240円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○ 売買及び取引の状況

(2023年3月14日～2024年3月13日)

### 公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	ブラジル	国債証券	千ブラジルリアル 878,619	千ブラジルリアル 919,335 (172,100)

(注) 金額は受渡し代金。(経過利息分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○ 利害関係人との取引状況等

(2023年3月14日～2024年3月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。



## ○組入資産の明細

(2024年3月13日現在)

### 外国公社債

#### (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	%	%	%	%	%
ブラジル	909,850	849,258	25,188,577	98.1	98.1	—	3.0	95.1
合 計	909,850	849,258	25,188,577	98.1	98.1	—	3.0	95.1

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

#### (B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		当 期 末					償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
ブラジル		%	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円		
国債証券	BRAZIL-LTN (LETRA TESO NA)	—	84,000	83,586	2,479,136	2024/4/1	
	BRAZIL-LTN (LETRA TESO NA)	—	108,000	102,454	3,038,759	2024/10/1	
	BRAZIL-LTN (LETRA TESO NA)	—	173,500	160,930	4,773,110	2025/1/1	
	BRAZIL-LTN (LETRA TESO NA)	—	400,000	338,156	10,029,556	2026/1/1	
	BRAZIL-NTN-F (NOTA TESO N)	10.0	138,350	138,364	4,103,830	2025/1/1	
	BRAZIL-NTNB (NOTA TESO N)	6.0	6,000	25,765	764,185	2026/8/15	
合 計					25,188,577		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2024年3月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	25,188,577	98.0
コール・ローン等、その他	519,541	2.0
投資信託財産総額	25,708,118	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(25,302,034千円)の投資信託財産総額(25,708,118千円)に対する比率は98.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、3月13日における邦貨換算レートは1米ドル=147.53円、1ブラジルレアル=29.6595円です。

## ○特定資産の価格等の調査

(2023年3月14日～2024年3月13日)

該当事項はございません。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年3月13日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	25,708,118,842
コール・ローン等	441,623,031
公社債(評価額)	25,188,577,967
未収利息	77,917,844
(B) 負債	25,274,283
未払解約金	25,273,316
未払利息	967
(C) 純資産総額(A-B)	25,682,844,559
元本	9,813,862,595
次期繰越損益金	15,868,981,964
(D) 受益権総口数	9,813,862,595口
1万口当たり基準価額(C/D)	26,170円

<注記事項>

(注) 元本の状況

期首元本額	12,406,634,123円
期中追加設定元本額	658,104,983円
期中一部解約元本額	3,250,876,511円

(注) 期末における元本の内訳

フランクリン・テンプレトン・ブラジル国債ファンド(毎月分配型)	8,708,149,505円
フランクリン・テンプレトン・ブラジル国債ファンド(年2回決算型)	1,105,713,090円

## ○損益の状況 (2023年3月14日～2024年3月13日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	3,068,404,405
受取利息	3,068,651,987
支払利息	△ 247,582
(B) 有価証券売買損益	3,839,421,351
売買益	3,877,218,122
売買損	△ 37,796,771
(C) 保管費用等	△ 45,952,447
(D) 当期損益金(A+B+C)	6,861,873,309
(E) 前期繰越損益金	12,576,762,899
(F) 追加信託差損益金	955,627,832
(G) 解約差損益金	△ 4,525,282,076
(H) 計(D+E+F+G)	15,868,981,964
次期繰越損益金(H)	15,868,981,964

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## <お知らせ>

### <主な約款変更に関するお知らせ>

デリバティブ取引の利用目的を明確化し、価格変動などのリスクを回避するため並びに投資対象資産を保有した場合と同様の損益を実現するための利用に限定する変更を行いました。

(変更日：2023年12月14日)